

子どもに
ツケを
まわさない!

千葉市議会議員 中央区選出

やすお

こおご保雄

三期目当選、新たなる決意。

平成27年4月の第18回統一地方選挙において、中央区選出の議員として3期目の当選をさせて頂き、さらに5月13日の臨時議会において第75代の議長に就任させて頂きました。そこで今回は、蘇我の東京電力千葉火力発電所の敷地が指定廃棄物処分場建設候補地に選定された問題に対して、議長として議会を代表して環境省に質問をいたしましたのでその内容をご報告いたします。

4月24日に突如として本市の中央区蘇我の東京電力千葉火力発電所の敷地が、東日本大震災による東京電力福島第一原子力発電所事故により発生した指定廃棄物の長期管理施設建設の詳細調査候補地に選定されたとの報告があり、市民に大きな衝撃を与えました。議会にとっても突然のことであり、また改選後のことでもあり、議会としてもやむを得ず対応が滞っておりましたが、私が議長に就任させて頂いたとき、議会の新体制が整った5月13日以後、早速5月20日と6月2日の二度にわたる全員協議会での詳細説明と質疑応答の実施を環境省に申し入れました。これを踏まえて急施案件として6月8日の議会開会初日に、未来の千葉市と千葉市の子どものために、

賛成多数で
採択

千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求めめる決議

- 1 今後30年以内に非常に高い確率で首都直下型の地震が来ると予想されていることから、液状化や津波・高潮等によって施設が破損し水質や大気が放射性物質によって汚染される可能性がある
 - 2 候補地は住宅に近接しており地震被害をはじめとした災害の危険性
 - 3 風評被害による農水産業、人口減少、地価下落等の恐れ
- 等により「千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求めめる決議」を賛成多数で採択し、早速翌日9日に環境大臣宛の決議文を小里環境副大臣に届けて再協議を強く要望して参りました。今号では議会報告において説明させて頂いております。



議会としての要望

5月20日の第1回目、6月2日の第2回目の環境省からの説明と質疑応答を踏まえて、議会初日の6月8日に「千葉市内での指定廃棄物処分場建設候補地選定について再協議を求めめる決議」を賛成多数で採択し、翌日9日に環境大臣宛の決議文を小里環境副大臣に届けて、千葉市1か所で管理保管するのではなく、各排出自治体で分散管理するよう再協議することを強く要望いたしました。

市政への声をお聞かせ下さい。

こおご保雄は自らが汗を流し、日本人として生まれ育まれた、古くから重んじられてきた伝統や礼節を尊ぶ心を見失わず、正直な人が報われる、弱い人が救われる、そんな当たり前の社会の実現に向けてまちづくりに邁進します。



質問 市議会
今後、本件をどのように進めていく考えでしょうか。

回答 環境省
今回の詳細調査候補地については、市町村長会議での議論を経て確定した手法に基づき選定作業を進め、提示させてい

質問 市議会
今後、本件をどのように進めていく考えでしょうか。

6 今後の予定について

中面
つづき
←

ただいたものです。地元の方々には突然の話であったと思えますが、選定経緯をはじめ、必要性、安全性などを丁寧に説明していくことが何より重要であると考えています。まずは、住民への御説明は早期に行いたいと考えていますが今後のやり方について、議会や市当局の御意向を尊重して決めていきたいと考えています。



千葉市議会議員
中央区選出

こおご保雄

Profile

YASUO KOGO

過去2期8年間に渡り「税金の無駄遣いは許さない」をキャッチフレーズに市民目線で議員活動に汗を流して参りましたが、議長就任中は、市民に分かりやすい議会を目指し、二元代表制の一翼を担う議会と市民の架け橋としての重責を全うして参りたいと思っておりますので、引き続き市民の皆様のご指導よろしくお願いたします。

略歴

- 昭和52年 市立千葉高等学校卒業
- 昭和57年 横浜市立大学商学部卒業
- 平成2年 税理士登録 向後税務会計事務所開設
- 平成15年 千葉県税理士会千葉東支部支部長
- 平成19年 千葉市議会議員【中央区選出】初当選
- 平成23年 千葉市議会議員【中央区選出】当選(二期目)
- 平成27年 千葉市議会議員【中央区選出】当選(三期目)

主な所属

- 第75代議長
- 環境経済委員会委員
- 千葉市消防団中央区方面隊長
- 千葉県解体工事業協同組合顧問
- 千葉市廃棄物リサイクル事業協同組合顧問
- 千葉市再資源化事業協同組合顧問
- 千葉県理容生活衛生同業組合中央支部顧問
- 千葉県美容業生活衛生同業組合千葉支部顧問
- 千葉市母子寡婦福祉会顧問
- 千葉県調理師会顧問
- 千葉市造園緑化協同組合顧問
- 千葉市レクリエーション協会理事
- 少年野球チーム新宿マリナーズ顧問
- 新宿小学校地区スポーツ振興会顧問
- 新宿地区部会顧問
- 新宿2丁目子ども会会長

お願い

市民のみなさまよりお寄せいただいたご意見・ご要望につきましては、必ず目を通し、議員活動の参考にさせていただきます。後日、ご報告させていただくために、出来ましたら匿名ではなく、連絡先をお知らせいただければ幸いです。またこの度議長に就任しました関係で議会ごとの定期発行は控えさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

お問い合わせ

こおご保雄事務所 〒260-0017 千葉市中央区要町5-6 松山ビル2階
 TEL:043-221-1288 FAX:043-221-5422

こおごやすお 検索 http://kogo.cc



TOPICS

5月20日に開催されました千葉市内における指定廃棄物長期管理施設詳細調査候補地について、環境省から詳細調査候補地として選定した経緯など質疑応答を交えながら聴取しました。

1 指定廃棄物管理の考え方について

質問 市議会

現在、指定廃棄物を一時保管している県内の松戸市、柏市、流山市などで引き続き継続保管することはできないのでしょうか。また、複数設置することで想定外の事態が起こった場合のリスクは低くなるかは考えられないでしょうか。

回答 環境省

千葉県内では現在10市18カ所、合計約3,700トンの指定廃棄物が保管されています。このうち、御指摘のあった松戸市、柏市、流山市については、そ

れぞれ940トン、1,100トン、580トンが清掃工場等において一時保管されています。これらの自治体ごとに保管されている指定廃棄物については、一時保管場所が十分に確保できなかったことから、一部、手賀沼にある終末処理場において一時保管されてきました。しかし保管期限が来たことから、今年の3月までにそれぞれの自治体へ指定廃棄物の運び出しを終えたところです。

その後は清掃工場建屋内や収集車の駐車場、倉庫などを現在の一時保管場所として用い

説明聴取後、あらかじめ議会内で会派ごとに提出したとめた質問について市議会を代表して議長である私が質問し環境省から答弁がなされました。内容を抜粋してご報告致します。



ざるを得ない状況であると聞いています。長期にわたり一時保管を続けるような状況ではなく、それぞれの自治体からも一

2 本市を候補地とした選定の経緯について

質問 市議会

本市の当該候補地との比較ができなければ、候補地選定の妥当性を判断できません。絞り込みの最終段階における候補地、上位10カ所程度を示すことは可能でしょうか。

回答 環境省

今回公表した詳細調査を行う

3 施設の安全性について

質問 市議会

候補地が臨海部であることから地震による津波や液状化

位、開催頻度、開催時期など、どのような形で開催されるのでしょうか。

回答 環境省

地元の方々におかれては指定廃棄物の処理に対して御不安、御懸念をお持ちになり、御心配をされていることは承知しています。環境省としては、千葉県における詳細調査候補地の選定経緯や施設の必要性、安全性について、地元の方々の御理解が得られるよう、丁寧の説明することが何よりも重要であると考えています。住民に対する説明会の開催単位、開催頻度といった具体的なやり方については、地元の御意向を尊重しながら決めていきたいと考えており、議会や市当局ともよく相談し、できるだけ早期に実施したいと考えています。

4 風評被害について

質問 市議会

風評被害対策について、具体的にどのような考えがあるのでしょうか。漁業者への対応や土地評価の下落、また2020年東京オリンピックが本市の幕張地区で開催される方向で進められているが、このことへの影響についてお伺い致します。

回答 環境省

風評被害が起きることによ

り、非常にさまざまな影響を及ぼし得ることは重々承知しています。風評被害を防止するため、まずは長期管理施設の必

5 住民への説明について

質問 市議会

過去におけるチエルノブイリの原発事故などを背景とした放射能物質に対する子どもへの影響が心配され、とりわけ小さな子どもをお持ちの親御さんは大きな不安を抱えています。保護者会やPTAなど子育て世代への説明は十分に

はもとより、高潮も懸念されます。この被害想定に関する考えはいかがでしょうか。

回答 環境省

津波に関しては、確定した選定手法では、「千葉県津波浸水予測図において想定されている津波浸水区域」及び「東日本大震災における津波到達ラインより海側のエリア」を候補地から除外することとしています。

今回1カ所選ばれた詳細調査候補地は、これらの地域ではなかったものです。選定経緯や施設の安全性等についての説明の努力を十分尽くした上で、今後行わせていただきたい詳細調査において過去の気象状況などを把握し、必要な対策も含めて検討するなど、しっかりと確認してまいります。

また、液状化現象については、有識者会議において施設の構造物の設計、施工の段階で対策を講じることで対応が可能